

研究課題名	切除不能肝臓癌に対する全身薬物治療の多施設共同後ろ向き観察研究
研究責任者名	県立広島病院 消化器・肝臓内科 主任部長 相方 浩
研究期間	2024年6月7日(倫理委員会承認後)～ 2035年 3月31日
対象者	2009年4月から2030年3月の間に、広島大学病院消化器・代謝内科および共同研究機関で全身薬物療法による治療を受けられた患者さん
意義・目的	<p>切除不能肝細胞癌に対して2009年以降、分子標的薬を用いた全身薬物療法が可能となっていました。2017年以降、さらに数種類の分子標的薬が認可され、2020年以降は免疫チェックポイント阻害剤も適応承認されました。しかし、各種薬剤の適応や使い分け、使用する順番に関しては明確なコンセンサスが得られていません。そこで本研究では薬物治療が行われた切除不能肝臓癌患者を対象として多施設より診療情報を収集し、薬物療法の有効性、安全性および、より有効な治療方法を検討することを目的とした後ろ向き研究を実施します。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は生年月、身長、体重、性別、病名、自覚症状の有無、治療歴、副作用歴、合併症、既往歴、血液検査（血算、生化学、凝固、腫瘍マーカー）、画像検査所見（腫瘍個数、腫瘍径、脈管侵襲、転移、病期）、有害事象、治療内容、治療効果、予後です。</p> <p>取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p> <p>上述のように誰のものか分からないように加工された情報を、電子媒体によって、広島大学病院に提供し、解析に用いられます。</p>
研究の実施体制	<p>研究代表者 広島大学病院消化器内科 教授 岡 志郎</p> <p>共同研究機関研究責任者</p> <p>広島赤十字・原爆病院 森 奈美</p> <p>県立広島病院 相方 浩</p> <p>JA 広島総合病院 相坂 康之</p> <p>中国労災病院 守屋 尚</p> <p>呉医療センター 河野 博孝</p> <p>東広島医療センター 安藤 雄和</p> <p>広島市立北部医療センター安佐市民病院 永田 信二</p> <p>広島記念病院 平松 憲</p> <p>研究機関の長 機関名 県立広島病院 氏名 板本 敏行</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学病院消化器内科 教授 岡 志郎

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8530 広島市南区宇品神田 1 丁目 5-54

T e l : 082-254-1818

県立広島病院 消化器・肝臓内科 相方 浩